

## 映像豆知識 セミナーを自分でより良く撮影するコツ

自社で行っているセミナーや講習会を、自分たちで撮影する機会はありませんか？

今回はそのような機会がある方のために、失敗せずにより良く撮影するコツをご紹介しますと思います。

弊社は、皆様で存知の通り、DVDの制作やダビングのサービスを行っているのですが、セミナーなどを撮影するサービスも行っています。DVDの制作・ダビングでは、お客様が撮影したセミナー映像をお取り扱いする機会も多くあるので、どのようなミスが起こりがちかも分かっておりますし、自社の撮影サービスにおいて気を付けているポイントと合わせ、皆様に役立てていただける情報になるかと思っております。



### 事前準備

最低限必要な機材は次の6つになります。

- ① カメラ
- ② 記録カード
- ③ バッテリー (予備バッテリー)
- ④ ACアダプター
- ⑤ 延長ケーブル
- ⑥ 三脚

### 必ず三脚を使用する

つつい面倒なので三脚を用意しないで撮影する場合もあるかと思いますが、三脚を使用せずに、手持ちで撮影することは、かなり難しいです。手ブレで見づらい等、良い点がありません。安定した映像を収録する為に必要な機材です。



### あとと非常に便利な機材＝ワイヤレスピンマイク

ワイヤレスピンマイクは、話者の胸元などにピンマイクを付けて、音声を無線で飛ばし、カメラ側で収録する機械です。業務用のものでも、安価なタイプだと3万円程で手に入ります。

セミナー映像において、音声がクリアに撮れているか撮れていないかで、大きくクオリティに差が生じます。余裕があれば導入する価値がある機材です。



### 当日準備

#### ホワイトバランス、明るさを調整する

ホワイトバランスとは、カメラの映像を実際に見ている色に近づける(「白」を「白」として認識させる)機能です。ホワイトバランスを合わせていないと、撮影映像が実際より赤くなったり、青くなったり、色の違う映像になってしまいます。カメラのマニュアルを読んで、実際の会場でホワイトバランスを調整しておいてください。

映像の明るさについても事前に調整しておくようにしてください。会場の照明の明るさをプロジェクター非表示と表示時の明るさに調整し、カメラの明るさ調整がオートで問題が無いかを確認しましょう。問題がある場合はオートではなく、マニュアル(手動)設定にして、セミナー中に手動で調整することが必要になります。

#### 必ずイヤホンでモニタリングする

特にワイヤレスピンマイクを使う場合、録音レベルに問題がなくてもノイズが入ったり、カメラマイクでの録音になってしまっている場合があるため、必ずイヤホンでモニタリングするようにしましょう。



### 撮影中

撮影中については下記事項を確認しながら撮影を行います。

- カメラが動いているか？
- 明るさは問題ないか？
- ピントは問題ないか？
- 音声は問題ないか？
- 記録残量は大丈夫か？
- バッテリーの残量は大丈夫か？

#### 少し余裕を持った大きさを撮影する

話者のみを撮影したい場合、遠くから撮影していると、ズームを使用して撮影を行うことになると思います。しかし、話者が頻繁に話す場所を動く場合、ズームをすればするほど、話者の動きに合わせてカメラで追うことが難しくなります。話者が映像から外れてしまったり、ブレて見づらくなってしまいます。ズームを少なめにし、少し余裕を持った大きさを撮影するようにしてください。

#### ズームやパン・ティルトはゆっくり行う

早いズームは見づらくなる上に、ブレしてしまう可能性もあるので、お勧めできません。ズームしたい場所へゆっくりとズームをするようにしましょう。事前にズームの練習をしておくとも良いでしょう。ズームと同様にパン(カメラを左右の横方向に振る事)やティルト(縦に振る事)をする場合も、ゆっくり行くと、見やすい映像に仕上がります。

## 小冊子『セミナーをより良く撮影する14のコツ』無料プレゼント！

セミナー撮影のコツを5つほどご紹介しましたが、より良く撮影するためには、もっと多くのコツを知っておくとも良いでしょう。

只今弊社では、小冊子『セミナーをより良く撮影する14のコツ』を無料プレゼントとしております。

この機会に是非お申込みください。郵便で小冊子をお届けいたします。お申込みは下記HPからどうぞ。

<https://www.tokyo-dc.jp/seminar/report.html>

